

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般財団法人合唱音楽振興会
公演団体名	東京混声合唱団

内容
<p>①混声合唱の響きと仕組みについて ソプラノ、アルト、テノール、バスの声質の違い、それらが重なり合っできる混声合唱の美しい響きを実際の演奏で聴き、合唱の仕組みやハーモニーについて理解する。</p> <p>②校歌と全員合唱（共演曲）の練習 校歌については、歌詞と音楽との関係を分析し、よりよい歌唱表現ができるようポイントを指導する。全員合唱（共演曲）では、各パートの歌い方、音楽表現の方法、練習のポイントを指導する。ピアノ伴奏を生徒が行う場合は伴奏指導も実施。</p> <p>③質問コーナー 児童・生徒の質問に回答する。時間の関係で回答しきれない場合は、事後に質問事項を送っていただき回答する。</p> <p>④合唱への興味を喚起する（本公演に向けて） 実際の演奏を織り交ぜながら、声と身体の関係、良い声を出すための姿勢、男子の変声、合唱の仕組みや幅広い表現方法について興味を膨らませ、本公演で実り多い成果をあげられるよう指導する。</p>

タイムスケジュール（標準）							
9	10	11	12	13	14	15	16
	到着 設営	リハーサル		休憩・昼 食	公演	撤収	

派遣者数
6名（ソプラノ、アルト、テノール各1名、ピアニスト1名、随員1名）

学校における事前指導
<p>①共演曲の選択。共演曲はA.各校自由選択曲、B. ラララのラー（鶴見幸代）、C. ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」より（ロジャース）のいずれか1曲</p> <p>②上記で選択した曲をワークショップに向けて音楽の授業や昼休みの放送などで周知する。（BかCを選択された場合は事前に楽譜や付随資料を合唱団から送付する）</p> <p>③ピアノを生徒が担当する場合は、人選し、周知する。</p> <p>④日頃合唱に取り組んでいる際の疑問や苦労している点など、質問事項をまとめておく。</p>

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	一般財団法人合唱音楽振興会
公演団体名	東京混声合唱団

演目	
小学校プログラム (休憩含む 90分)	中学校プログラム (休憩含む 90分)
<p>■校歌演奏</p> <p>■第1部 日本の歌 待ちぼうけ(作曲:山田耕筰)／せんせい(作曲:三善晃)／里の秋(作曲:海沼賢)</p> <p>■第2部 世界の合唱曲より 夏は来たりぬ(14世紀のカノン)／ハレルヤ(作曲:G.F.ヘンデル)／フニクリ、フニクラ(作曲:L.デンツァ)</p> <p>■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲—シアターピース 萬歳流し(作曲:柴田南雄)</p> <p>■第4部 みんなで歌おう ①歌う前にみんなでウォームアップ ②校歌全員合唱 ③ABCより選択 A.各校選択曲／B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代)／C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」</p> <p>■第5部 みんなのコーラス となりのトトロ(作曲:久石譲)／幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)／ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(作曲:A.リューベル)／翼をください(作曲:村井国彦)</p>	<p>■校歌演奏</p> <p>■第1部 世界の合唱曲より「カルミナ・ブラーナ」より～おお運命の女神よ(作曲:K.オルフ)／トリッチ・トラッチ・ポルカ(作曲:J.シュトラウス2世)／コンダリラ(滝の精)(作曲:S.リーク)</p> <p>■第2部 日本のうた 群青(作曲:小田美樹 編曲:信長貴富)／「親子で歌い継ごう日本の歌百選」より～さくらさくら(日本古謡・編曲:名田綾子)／夕焼小焼(作曲:草川信・編曲:三善晃)</p> <p>■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲—シアターピース 萬歳流し(作曲:柴田南雄)</p> <p>■第4部 みんなでコーラス ①校歌全員合唱 ②ABCより選択 A.各校選択曲 B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代) C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」</p> <p>■第5部 楽しいコーラス 手紙～拝啓十五の君へ(作曲:アンジェラ・アキ)／風になりたい(作曲:宮沢和史)／Joyful, Joyful(作曲:L.v.ベートーヴェン 映画「天使にラブソング」より)</p>

派遣者数
<p>総勢 33名 (合唱団30名、指揮者1名、ピアニスト1名、随員スタッフ1名)</p>

タイムスケジュール（標準）							
9	10	11	12	13	14	15	16
	到着 設営	リハーサル	休憩 昼食	開 場	公 演		撤 収

実施校への協力依頼人員

6名程度

役割：舞台設営、音響準備など、作業時間：約30分程度）

おおまかな目安人数です。ピアノを持ち上げて移動する必要がある場合はもっと必要になります。

演目解説

【小学校プログラム】

■校歌演奏

ワークショップの中で、児童と一緒に校歌の分析、解釈を細部にわたり施し、本番では東京混声合唱団による模範演奏、合同演奏を行います。

■第1部 日本のうた

- 待ちぼうけ(山田耕筰)～詩人・北原白秋と作曲家・山田耕筰の名コンビによる歌で、中国に伝わるお話を基に作られました。合唱がお話を進め、ピアノが情景を見事に描いています。
- せんせい(三善晃)～大阪の小学一年生が書いた詩に作曲家が触発されて生まれた曲。児童のまなざしに大人はドキッとさせられます。
- 里の秋(海沼貫)「日本の歌百選」より～終戦の年1945年にラジオ番組で発表され、以来日本の童謡を代表する名曲として歌い継がれています。歌詞は、里の秋に重ねて、戦争に赴いた父を待つ母子の気持ちを思いを込めて歌うものです。

■第2部 世界の合唱曲より

- 夏は来たりぬ(14世紀のカノン)～700年程前から生活の楽しみのために歌い続けられてきた輪唱曲です。女声と男声が別々の輪唱を同時に歌います。
- ハレルヤ(ヘンデル)～「ハレルヤ」は[神様を讃えよう]という意味で、キリストの生涯を描いたオラトリオ「メサイア(救世主)」の中で、第二部の最後を飾る荘厳な合唱曲です。
- フニクリ・フニクラ(デンツァ)～イタリアの登山鉄道(フニコラーレ)を題材に、男性から意中の女性への熱い想いを明るく歌い上げます。

■第3部 日本の伝統芸能を素材にした合唱曲－シアターピース－

- 萬歳流し(柴田南雄)は、雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

■第4部 みんなで歌おう

- 東京混声合唱団団員が児童の間に入り、同時体験するふれあいコーナーです。歌う前にみんなでウォームアップ～ステージ上の指導者に合わせて体をほぐし、よい歌声に導きます。
- 校歌全員合唱
- ABCより選択【A.全員合唱(各校選択曲) または B.ラララのラー(鶴見幸代) または C. ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)ワークショップで児童と一緒に練習した曲を、本公演では東京混声合唱団との合同演奏の形で発表します。

■第5部 みんなのコーラス

- となりのトロロ(久石譲)～アニメ映画「となりのトロロ」でおなじみの曲が東京混声合唱団のためにアレンジされたものです。
- 幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)～軽快なリズムに合わせてみんなで楽しめる歌です。みんなで一緒に手拍子、足拍子、元気に体を動かしましょう。
- ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(ウルベル)～ディズニー映画『南部の唄』の挿入歌。陽気で踊り出したくなるような曲です。
- 翼をください(村井邦彦)～年代を問わず、幅広い世代に愛され歌い継がれてきた名曲です。

【中学校プログラム】

■校歌演奏 *小学生参照

■第1部 世界の合唱曲より

- おお運命の女神よ「カルミナ・ブラーナ」(オルフ)より～ドイツの作曲家オルフが中世に書かれた民衆の詩に付けた壮大な曲です。とくにその第1曲「おお運命の女神よ」は力強いリズムとダイナミックで壮大なメロディーが心に強く刻まれます。
- トリッチ・トラッチ・ポルカ(ヨハン・シュトラウス2世)～「おしゃべりポルカ」とも呼ばれ、人の噂が次から次へと町中に広がっていく様子を軽快なポルカに乗せて描いています。
- コンダリラ(滝の精)(リーク)～オーストラリアの現代作曲家リークによる作品です。まるで深い森の中に迷い込んでしまったかのような音空間が味わえる不思議な一曲です。

■第2部 日本のうた

- 群青(小田美樹)～2011年3月11日に東日本を襲った大震災で被災した福島県南相馬市立小高中学校の平成24年(2012年)度卒業生と音楽教員だった小田美樹によって作られた曲です。津波の犠牲となった同級生、また福島第一原発事故で警戒区域のなったため全国に避難した多くの同級生を想い「見える景色は違っても 遠い場所で 君も同じ空 きっと見上げてるはず」と、友情と絆に想いを馳せて歌われます。

「親子で歌いごう日本の歌百選」より～

- さくら(日本古謡・名田綾子編曲)～誰もが知っている「さくら」の旋律を、名田綾子がつけた情感豊かなピアノ伴奏に乗せて歌われます。
- 夕焼け小焼け(草川信・三善晃)～誰もが知っている夕焼け小焼け、三善晃の編曲では、一番を女声、二番を男声、そして最後に混声で壮大な盛り上がりをお聴かせします。

■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲—シアターピース

東京混声合唱団は1956年の創立以来、日本の作曲家に作曲をお願いして、オリジナルの合唱作品を200曲以上、生み出しております。今回はその中から面白い動きを伴った作品を紹介いたします。

- 萬歳流し(柴田南雄)は、雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

■第5部 みんなでコーラス

- 校歌全員合唱
- ABCより選択【A.全員合唱(各校選択曲) または B.ラララのラー(鶴見幸代) または C. ミュージカル・モデル～「サウンド・オブ・ミュージック」より～(ロジャース)ワークショップで生徒と一緒に練習した曲を、本公演では東京混声合唱団との合同演奏の形で発表します。

■第6部 楽しいコーラス

- 手紙一拝啓 十五の君へ(アンジェラ・アキ)～2008年に発表され同年のNHK全国学校音楽コンクール中学校の部課題曲として書かれた曲です。歌詞は15歳の「僕」が未来の自分に宛てて、悩みを綴った手紙を書くことによって今を生きていくという内容です。

- 風になりたい(宮沢和史)ヴォーカルグループ THE BOOM によって歌われたこの曲は、軽やかなポップス調のリズムに乗って大切な人を想う気持ちを歌った曲です。
- Joyful Joyful(ゴスペル)～映画「天使にラブソングを 2」の中で歌われたゴスペルナンバーです。ベートーヴェンの「第九」の旋律が使われています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

合唱は、児童生徒全員が参加できる演奏形態であり、その特質を生かした共演形態を工夫します。ただ、新型コロナウイルス感染症の拡がりの終息がまだ見通せない状況下にありますので、以下の内容については十分な感染症対策を講じ、実施校と十分な打ち合わせのもとに可能なことを実施していきたいと考えております。

○実施校の規模に応じて、代表学年や代表クラスがステージ上で共演したり、体育館全体を大きなステージと仮定して合唱団メンバーが児童生徒の中に入ったり、取り囲むように演奏するなど、誰でも参加できる合唱の利点を生かした共演形態を取り入れます。

○全員合唱曲は、小学校・中学校共に A. 自由選択曲、B. 「ラララのラー」、C. ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」から選択していただきます。A では、実施校でその曲がどのような機会に歌われているかなど実情を考慮して指導し、合唱団と共演することによって、普段とは異なる響を体験していただきます。B と C は、東京混声合唱団が学校巡回公演のために作曲家に依頼してできたオリジナル曲ですが、大人と一緒に声を出し身体を動かしているうちに曲が完成してしまうという誰でも取り組める作品です。子供のハーモニーと大人のハーモニーを重ねて出来上がる、声による不思議な空間を楽しんでいただきます。

○校歌と学校自由選択曲では、ピアノを児童生徒に担当してもらうことの可能です。

○ステージの設定についても、体育館にどのように並んで演奏するか、過去の実例も踏まえ参加人数も考慮しながら実施校にもっとも相応しいステージで円滑な進行ができるよう工夫いたします。

児童生徒とのふれあい

上記の共演曲に加えて、児童生徒とのふれあいとして、下記の3つのオプションを用意しています。

①サイン色紙の贈呈

出演者全員のサイン色紙を贈呈し、公演の思い出として学内に掲示していただきます。

②校歌の録音音源贈呈

本公演当日のリハーサル時に各校用意の録音機材による校歌演奏を録音していただき、学内の公式行事や昼の放送、また、学校の公式ホームページなどにご利用いただきます。

③ふれあい写真撮影会（現状では小規模校に限る）

終演後に出演者と児童生徒一同とで写真撮影を行います。

以上のようなことを実施することにより、演奏者とより深い親近感が広がる交流が可能であると考えます。

また、上記の他、東京混声合唱団ホームページ上に「ふれあいホームページ」を開設し、この事業について児童生徒や教職員の方々を対象にわかりやすく案内すると共に、ワークショップから本公演に至るまで、より一層の交流を深めるようにいたします。